


(シラバス No.3) (基盤科目)

科目名	研究方法特別演習Ⅲ 英語名：Special Seminar on Study Method III	必修/選択	選択必修	
		単位数	2 単位	
		担当教員	三輪 建二	
【授業概要】 博士（教育）の学位取得を予定している対人関係の専門職（プロフェッショナル）が、教育実践上の課題を省察・探究しながら、教育実践研究として学位論文をまとめていくことを目標に、本科目では、教育実践の省察・探究に必要な研究方法を取りあげて検討する。はじめに、対人関係専門職にとって意味のある量的研究や質的研究とは何かを検討する。次に、これらの研究方法では括り切れないものとして、学生自身の実践の省察、改善された実践の実施、さらなる省察という「実践と省察のサイクル」を持ち、さらに学生自身に加えて同僚や組織、社会の改善をも展望する「アクションリサーチ法」を検討する。 以上の検討をふまえた上で、対人関係専門職の学生が、自分の博士（教育）の学位論文にふさわしい研究方法を選び取り、研究計画を立てる作業を行う。				
【キーワード】 量的研究、質的研究、省察、アクションリサーチ				
【授業の到達目標】 複数の研究方法の基礎を理解した上で、自分の実践・職務上の課題の探究にふさわしい研究方法を自ら選択できるようになることを到達目標とする。				
【スクーリング実施の有無】 スクーリングの実施【あり】 スクーリングのメディア受講【可】				
【授業計画】				
回	内 容			
1	〔スクーリング1〕 オリエンテーション 本演習のねらい・進め方 研究テーマ・アクションリサーチ・ケーススタディ・量的研究をめぐる講義とディスカッション			
2	・社会人大学院生にふさわしい研究方法			
3	・受講者の研究テーマの確認と研究方法			
4	・社会人院生の論文指導と量的研究・質的研究			
5	・アクションリサーチ（ウォレス 4章）			
6	・ケーススタディ（5章）			
7	・量的研究：アンケート調査（6章）			
8	・量的研究：フォーカス・グループ（6章）			
9	〔スクーリング2〕 質的研究と研究計画をめぐる講義とディスカッション			
10	・質的研究：インタビュー調査とグラウンデッドセオリー・アプローチ（7章）			
11	・調査結果の分析（9章）			
12	・論文にまとめること（11章）			
13	・研究方法を選択と組み合わせ			
14	研究計画の報告とディスカッション			
15	まとめと課題			
試験				

<p>【履修にあたっての準備・履修上の注意点】 指定したテキストを読み、理解を深めておく。テキストについてはオリエンテーション時に指示する。</p>
<p>【スクーリングでの学修内容】 スクーリングは、学修の初期に、授業の目的や学修の概要を知り、この科目を通じて何を指すかを学生と教員が相互に確認するために行う。さらに、学修の終期に、学修のまとめとしてもスクーリングを行う。 学修の初期のスクーリングに関しては、事前に、現在考えている研究テーマと、それにふさわしいと考える研究法とのつながりを調べておく。スクーリングでは、量的研究と質的研究、およびアクションリサーチ、ケーススタディの説明を受ける。特にアクションリサーチの説明が主となるので、理解を深める。スクーリング後は、研究法の特徴や違いを確認し、自分の研究テーマにふさわしい研究法を選び取ることができるようになることが望まれる。 学修の終期のスクーリングに関しては、インタビュー調査、参与観察、グラウンデッド・セオリーなどの説明を行う。受講者は事前に、学位論文の研究計画案を立てておく。スクーリングの後半では、研究計画案を報告し、検討し合うことで、研究テーマと研究法との関係性を深く理解する。スクーリング後、各学生は計画書に基づいた実践研究に入る（進捗によっては途中で計画書の内容を実践しても良い）。 スクーリングはこの2つの時期を含み、合計4コマ6時間以上をめぐり行う。</p>
<p>【評価方法】 合否については、研究計画・方法に関するプレゼンテーション・レポート（50%）、科目修得試験（50%）で評価する。</p>
<p>【テキスト】 S・ウォレス（三輪訳）『教師がまとめる研究論文：量的研究・質的研究・アクションリサーチ』鳳書房、2020年 *教員メッセージを参照のこと K&N・アップルヤード（三輪訳）『教師の能力開発：省察とアクションリサーチ』鳳書房、2018年 I・ラシュトン、M・スター（三輪訳）『教師の省察的実践：学校教育と生涯学習』鳳書房、2018年 その他必要な文献は演習当初に指示する。</p>
<p>【参考図書】 D・ショーン（柳沢昌一、三輪建二監訳）『省察的実践とは何か』鳳書房、2007年 D・ショーン（柳沢昌一、村田晶子監訳）『省察的実践者の教育』鳳書房、2017年 三輪建二『おとなの学びとは何か―共生社会の学び合い』鳳書房、2018年</p>
<p>【教員メッセージ】 ・テキストのウォレス（2020）は刊行が5月下旬のため、該当箇所をPDFにして配布します。4月のオリエンテーション時での指示に従うこと。 ・研究法の採用は重大な関心事だと思います。本演習では、「研究法は実践上の課題解決のためであるのであり、研究法のために実践上の課題があるわけではない」をモットーに、相互にディスカッションをしながら、自分にとってふさわしい研究法の採用ができることをめざします。</p>
<p>【備考】 特記事項なし</p>